

転がり軸受の基礎と音・振動・振れおよび電食防止技術

日時
2018年 3月1日 (木)
10:30 ~ 16:30

税込受講料
1名 48,600円
2名以上1名 45,360円

案内図



飯田橋駅下車 各徒歩約5分
JR中央線(緩行線)
地下鉄東西線(A5出口)
地下鉄有楽町線・南北線(A4・B2a出口)
都営地下鉄大江戸線(A4出口)

<お申込要項>

- ・参加ご希望の方は、HP・E-mail・FAX 電話、何れかにてお申込ください。
- ・お申込に際し、社名・部署名・受講者名 住所・連絡先(TEL・FAX・E-mail)をお知らせください。
- ・お申込次第、受講票・請求書等を発送します。受講料のお支払は銀行振込・当日持参のいずれかをお願いします。
- ・受講料は講座後のお支払いも対応致します。(個人申込除く)
- ・開催日前14日以降のキャンセルはお受けできません。
- ・受講者数が開催基準定員に満たない場合は中止になります。

会場 産業科学システムズ会議室(東京都千代田区富士見1-5-1)

講師 東京理科大学 理工学部機械工学科 教授
博士(工学)/技術士(機械部門) 野口 昭治氏
(元)日本精工株式会社

Study and Learning

- 転がり軸受の基礎
- 1 滑り摩擦と転がり摩擦の基礎
 - 2 転がり軸受の分類と特徴
 - 3 転がり軸受の選定
 - 4 主要寸法と呼び番号
 - 5 転がり軸受の精度
 - 6 定格荷重と定格寿命
 - 7 軸受荷重の求め方
 - 8 はめあい
 - 9 内部すきまと予圧
 - 10 許容回転速度
 - 11 潤滑と潤滑寿命
 - 12 密封装置
 - 13 損傷事例と検出方法

転がり軸受の音・振動・振れ

- 1 転がり軸受の本質的な音・振動
- 2 転がり軸受の製作に関する振動・音響
- 3 取り扱い不良に関する振動・音響
- 4 振動・音響の周波数
- 5 転がり軸受の回転振れ
- 6 転がり軸受の回転振れ(音・振動)の発生原因
- 7 転がり軸受の回転振れ(音・振動)と内部形状誤差の関係
- 8 転がり軸受の回転振れ(音・振動)を小さくするには?

玉軸受の電食

- 1 直流における電食発生電流密度
- 2 直流における電食発生電圧
- 3 電食防止に関する研究
 - 3.1 導電性グリース
 - 3.2 セラミックス転動体

電食損傷と油膜パラメータの関係

- 1 回転速度を変化させた場合
- 2 表面粗さを変化させた場合
- 3 グリース基油粘度を変化させた場合
- 4 リッジマークの形成条件

振動周波数とリッジマーク形成状況

- 1 リッジマークにより増大する振動周波数
- 2 リッジマーク形成過程の観察

質疑応答

お申込・お問合せは

主催 ISS 産業科学システムズ
<http://www.ebrain-j.jp/>

TEL (03)3264-5635 FAX (03)3264-5675
E-mail: education@ebrain-j.com

申込書 FAXは 03-3264-5675

講座参加申込書 転がり軸受の基礎と音・振動・振れおよび電食防止技術

セミナーコード

1101-180301

太枠内をご記入の上FAX (03-3264-5675) してください。

2018/3/1 ISS

社名	所在地	〒	電話	()
No.	所属部課(正式名称)	氏名	E-mail アドレス	-
			FAX	()
窓口部署			お支払予定	当日ご持参 銀行振り込み
この講座をお知りになった媒体を○で囲んでください パンフ はがき Eメール ホームページ 検索サイト() その他				